

## 第1章 調査団の概要

### 1-1 調査団派遣の経緯

重点課題別支援委員会(開発とジェンダー)は、当該イシューに精通した専門家、有識者によって構成され、効果的・効率的な援助の実施に資するべく当該イシューの開発課題を明確にし、課題解決のためにJICAが取り組むべき援助の方向性や留意点につき助言を与えることを目的として、99年度より設置されている。

現地調査では、同委員会委員を開発途上国に派遣し、現地視察、現地関係者や他ドナー関係者などとの意見交換、関連資料の収集・分析を通して、対象案件への教訓・提言及び他の案件にも適用可能な教訓・提言を導き出し、同調査結果を委員会及びジェンダー連絡会において報告することにより、JICAのジェンダー分野の効果的な協力の実施に資することを目的とする。

昨年度(2000年度)は、タイのアジア工科大学においてジェンダー主流化の状況と「開発とジェンダー」の課題への取組みを調査することにより、JICAが高等教育機関を支援する際のジェンダーの取組みに係る教訓を得ている。

今次調査においては、各事業部から現地調査対象案件について要望を聴取した結果、99年以降農村開発、リプロダクティブ・ヘルス等の分野で複数の小規模かつ草の根レベルの協力を含むジェンダー関連案件を実施しているバングラデシュにおいて、JICA事業で今後より一層ジェンダー主流化を推進するための教訓・知見を導き出す可能性が高いと判断し、同国に調査団を派遣するに至った。

### 1-2 調査団派遣の目的

バングラデシュにおいてJICAが実施中のジェンダー関連案件を対象に、ジェンダーの取組み(ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに資する取組み)と、そのアプローチ及び効果について調査を行い、同調査結果より得られた教訓・知見から、他の案件に適用可能な一般的な教訓・知見を導き出す。

### 1-3 調査の概要

#### 1-3-1 調査対象機関(調査対象となるJICA協力事業)：

	プロジェクト名	スキーム	相手側実施機関	関係機関
1	「開発と女性」	個別専門家派遣	女性子ども問題省女性問題局	
2	住民参加型農村開発行政支援プロジェクト	「ジェンダーと開発」専門家チーム派遣	地方自治農村開発協同組合省 バングラデシュ農村開発公社	
3	「バングラデシュ国リプロダクティブ・ヘルス人材開発」プロジェクト	プロジェクト方式技術協力	保健家族福祉省官房、保健局 卒後研修課技術研修室、家族 計画局基礎医療サービス課、母子 保健研修所	
4	「リプロダクティブ・ヘルス地域展開プロジェクト」	開発パートナー事業	保健省家族福祉省、バングラデ シュ家族計画協会	ジョイセフ
5	「バングラデシュ女性農業研修」	現地国内研修	バングラデシュ女性農業研修セ ンター	オイスカ

6	「貧困層のエンパワーメントを通じた住民参加型農村開発計画」	開発パートナー事業	地方自治農村開発協同組合省 地方自治局	シャプラニール
---	-------------------------------	-----------	------------------------	---------

### 1-3-2 調査項目

- 各案件におけるジェンダーの取組み(社会・ジェンダー調査の実施状況を含む)
- 計画・実施・評価の各段階における女性の参加状況
- 現地実施機関(含カウンターパート)のジェンダーに対する取組み状況
- 案件実施による男性及び女性に対するインパクト
- その他の関連事項

### 1-3-3 調査手法

- ヒアリング調査および意見交換
- 質問票に基づく聴き取り調査
- 参与観察
- 関連資料の収集・分析

(日本側関係者/カウンターパート・実施機関責任者/研修等への参加者/他ドナー/農村住民/病院利用者等)

### 1-4 調査団の構成

分野構成	団員名	所属
総括 / 農村社会学	吉野 英岐	岩手県立大学総合政策学部
保健・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	柘植 あづみ	明治学院大学社会学部
開発とジェンダー	宮原 千絵	JICA 環境・女性課

1-5 調査日程

日	曜日	スケジュール	担当	移動方法	宿泊
3/27	水	成田発(11:30) シンガポール着(17:40) シンガポール発(20:30) ダッカ着(22:30)	全員		ダッカ
3/28	木	女性子ども問題省女性問題局表敬・協議 「開発と女性」アドバイザー(専門家) DANIDA 表敬・協議 CIDA 表敬・協議 JICA 事務所打ち合わせ 団内ミーティング	全員 水野専門家	車輜	ダッカ
3/29	金	市場調査 団内ミーティング	全員 水野専門家	車輜	ダッカ
3/30	土	移動:ダッカ サバール 視察:バングラデシュ女性農業研修(現地国内研修、ダッカ郊外サバール・バングラデシュ女性農業研修センター、オイスカ) オイスカ側運営者インタビュー 現地研修指導者インタビュー 農場見学 移動:サバール ダッカ マイメンシン県イショルゴンジ 視察:貧困層のエンパワーメントを通じた住民参加型農村開発計画(開発パートナー事業、マイメンシン県イショルゴンジ郡、シャプラニール) Community Development Center 打ち合わせ Niz Pubail 村男性グループ活動インタビュー 団内ミーティング	全員 水野専門家	車輜	マイメンシン県
3/31	日	Community Development Center 協議・インタビュー Borodangri Pritilata 村女性グループインタビュー 移動:マイメンシン県 ダッカ 団内ミーティング	全員 水野専門家	車輜	ダッカ
4/1	月	視察:リプロダクティブ・ヘルス人材開発(HRDRH, プロジェクト方式技術援助、ダッカ市内 MCHTI) 派遣専門家(医師)インタビュー 研修生インタビュー 患者インタビュー 移動:ダッカ タンガイル県 水野専門家インタビュー 団内ミーティング	全員 水野専門家 「人口と開発」研究会 現地調査合同	車輜	タンガイル県

4/2	火	視察:住民参加型農村開発行政支援 (PRDP、専門家チーム派遣、タンガイル県エレンガ郡) プロジェクト事務所での協議 郡庁表敬 ユニオン評議会議員インタビュー Tarabari 村女性会議メンバーインタビュー Baniafair 村女性会議視察 D. Chamuria 村男性会議メンバーインタビュー 移動:タンガイル県 ダッカ UBINIG(NGO)訪問・協議	全員 水野専門家	車輛	ダッカ
4/3	水	移動:ダッカ ナルシンディ県パンチドナ地区 視察:リプロダクティブ・ヘルス地域展開プロジェクト (開発パートナー事業、ナルシンディ県パンチドナ地区、ジョイセフ) プロジェクト事務所にて協議・視察 Charepara 村 Sub Center 視察・女性インタビュー 識字教育視察 移動:ナルシンディ県 ダッカ JICA 事務所報告 大使館報告 団内+水野専門家+伊藤所員ミーティング 移動:ダッカ(23:55) シンガポール	全員 水野専門家 「人口と開発」研究会 現地調査合同	車輛	機内泊
4/4	木	シンガポール着(5:55) シンガポール発(8:00) 成田(15:40)			

#### 1-6 主要面談者リスト

「バ」国担当省	実施機関	面会者名	役職
女性問題局	女性問題局	Ms. Begum Touhida Faruki 水野桂子	局長 専門家
	政策・アドボカシー室(PLAU) PLAGE プロジェクト (CIDA)	Dr. S.M. Ali Akkas	PLAU 合同室長 PLAGE プロジェクト責任者
		Ms. Krishna Chanda	PLAU 副室長
		Ms. Nurun Nahar Begum	PLAU シニアアシスタント室長
	女性への暴力対策プログラム (DANIDA)	Ms. Suss Schumann	チーフテクニカルアドバイザー
		Ms. Kazi Momata Hena	プロジェクト副長
Md. Nurul Abedum		プロジェクト長	

オイスカ	Bangladesh 女性農業研修 (現地国内研修)	宮島秀夫 鈴木伸司 Ms.Selina Akhtar Ms.Halima Shatuu Ms.Onu Marak	OISCA Bangladesh 開発団・団長 OISCA 農業及び研修管理専門家 女性農業研修実習指導員 女性農業研修農業・稲作指導員 女性農業研修裁縫指導員
地方自治農村開発協 同組合省地方自治局	「貧困層のエンパワーメントを 通じた住民参加型農村開発 計画」(開発パートナー事業: シャプラニール)	A.K.M. Abdui Rouf	CDC Director, Field Coordinator
		Md. Fazlul Karim	Field Organizer,
		D.M. Shalahuddin	Program Supervisor
		Md. Sirajul Harim	Accountant
		Md. Monnafali Prodhan	Field Organizer
		Ashrafun Nahar	Field Organizer
		Israt Jahan	Field Organizer
		Kalpana Rani	Field Organizer
		Mohammad Shahnewaz	Field Organizer
		Md. Harun-or-Rashid	Field Organizer
		Ms. Jorna	Field Organizer
		Gono Sheba	男性グループ
		Borodan Gri Pritilata	女性グループ
保健家族福祉省官房	Bangladesh 国リプロダク ティブ・ヘルス人材開発(プロジ ェクト方式技術援助)	Dr. S.M. Jahangir	Superiuteudeut, MCHTI
		山田多佳子	専門家(プロジェクトリーダー)
		立山恭子	専門家(看護管理、助産婦研修担 当)
		石原由紀	専門家(産婦人科担当)
		増山利華	専門家(母性看護担当)
		鈴木ケイ	プロジェクトコーディネーター
		Family Welfare Visitor 10 人	研修生
		入院患者 3 人	
地方自治省農村開発 協同組合省 バング ラデシュ農村開発公 社	住民参加型農村開発行政支 援プロジェクト(専門家チーム 派遣)	矢嶋吉司	専門家
		藤原洋二郎	専門家
		Md. Akkel Ali	Upazila Deputy Project Coordinator, Union Development Officer
		Md. Rais Uddin	Union Development Officer
		Md. Anisur Rahman	PRDP Staff
		Ms. Anowara	PRDP WID Coordinator
		Mr. Sohralo Ali	Kalihati 郡長、upazila Project Coordinator
		ユニオン評議会議員 3 名	
		Tarabari 村女性 2グループ(12 人)	女性会議メンバー
		Baniafair 村女性	女性会議メンバー
		Chamuraia 村男性	男性会議メンバー

保健省家族福祉省	「リプロダクティブ・ヘルス地域	Md. Ismail H. Bhuriyan	Project Director
----------	-----------------	------------------------	------------------

官房	展開プロジェクト社会開発(開発パートナー事業:ジョイセフ)		
		Ms. Shahida Islam	Supervisor
		Family Development Volunteer (14名+1名)	
		Charpara村女性-(グループインタビュー8名)	
UBINIG	NGO	Ms. Farida Akhter	Executive Director
日本大使館		中村 温	1等書記官
		木村 安邦	2等書記官
JICA 事務所		坂本 隆	所長
		河崎 充良	次長
		伊藤 真利	所員
		Mr. Zulfiker Ali	Deputy Director
		Ms. Fiona Mirza	Assistant Director